

西洋文化史概説小テスト

学 部	学 籍 番 号	名 前

次の各設問の正誤を判断し、正しければ Yes、誤っておれば No をマルで囲みなさい。

1. ポンペイの城壁建築の最も古い建築工法はパッパモンテ工法である

Yes No

2. 二番目に古い城壁建築工法は凝灰岩切石積み工法である。

Yes No

3. 最も新しい城壁建築工法は熔岩の割栗石による不整形工法である。

Yes No

4. 初源的都市計画プラン説を提唱したのはハヴァーフィールドである。

Yes No

5. フォン・ゲルカンは多段階拡大発展論の支持者である。

Yes No

6. デ=カーロは一挙形成論を提唱している。

Yes No

7. 多段階発展論によるとフォロのある南西部がポンペイの旧市街で、それを取り巻く環状道路が後に廃絶された旧城壁であるとされる。

Yes No

8. 多段階発展論によるとポンペイの町は先ず東に延び、次いで北に向かって発展したことになる。

Yes No

9. ポンペイ東南部から最古の建築工法による城壁が確認されたことが多段階発展論に対する反対論の根拠となった。

Yes No

10. ポンペイの街中にブドウ農園が広がっていたり、最古の城壁と後の城壁との関連性が弱いことが一挙形成論の根拠とされた。

Yes No